

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。教員も保護者のみなさんと同様の内容で学校評価を行いました。児童、保護者双方で課題がみられた項目は「楽しい」「仲良く」「読書」でした。教員は、「家庭学習」「読書」「運動」に課題を感じていることが分かりました。

「楽しい」「仲良く」については日常の学校生活で子供たちが自己有用感を感じられるように教師が支援するとともに、学級、学年、ひまわり班活動において互いのよさを認め合う場を充実する必要があると考えます。

「読書」「家庭学習」については、各ご家庭と連携しながら「親子ふれあい読書」「自分パワーアップ」等の活動を通じて習慣付けを図ります。「運動」については、「なわとびカード」等を活用し、冬季の体力づくり活動を充実させます。

以下は、学校評価を基に各学年の担任が考えた課題とその克服に向けた取組です。

学校評価アンケート(12月)の結果を踏まえた、2学期の取組

学年	課題	課題克服に向けての取組（一部）
1 年	○いろいろな人と仲良くする。 ○読書をする。 ○自分の目標を決め、それに向かって取り組もうとする。	・人間関係づくりのゲームやレクリエーションを、週に1回程度行う。その際、ぽかぽか言葉を取り入れた活動にする。 ・保護者と一緒に読書をする宿題を出したり、「おはなしノート」に読んだ本を記録し、賞賛したりする。 ・自分パワーアップ週間を中心に、2年生に向けて頑張りたいことについて目標を立て、取り組む。
2 年	○いろいろな人と仲良くする。 ○挨拶をする。 ○読書をする。	・週一回、学年で歌を歌ったり人間関係づくりゲーム等をしたりして、人間関係を深める活動を取り入れる。 ・学年エリアに「あいさつボランティア」を募り、挨拶を学年の友達に進んで声をかける取組を行う。 ・読んだページ数を記録する「読書貯金」を行う。
3 年	○いじめを許さない。 ○学校生活を楽しく過ごす。 ○運動をする。	・日頃から子供たちの様子に目を配り、気になる子供に声かけをしながら早めに教育相談を行う。 ・一人でも「できた」「分かった」が増える授業づくりと教師の手立てを継続しつつ、対応していく。 ・なわとびカードを活用し、継続的な運動を推奨する。
4 年	○進んで挨拶をする。 ○進んで読書をする。 ○よいと思う行動をしたり、よい行動をしている友達を見付けたりする。	・自分から進んで挨拶をしたら色シールを貼っていくなど、頑張ったことが分かる取組をする。 ・国語科と関連付けて学習につながる本を紹介し、好きな本だけでなく、色々なジャンルの本に親しめるようにする。 ・道徳科の時間に、「善悪の判断」や「思いやり」の題材を扱い、実践につなげていく。
5 年	○学校へ来るのが楽しいと感じられるようにする。 ○進んで家庭学習や読書に取り組む。 ○自分で決めた目標を達成しようとする。	・一人一役の仕事や委員会の仕事でがんばっている児童を紹介するなど、自己肯定感を高めるようにする。 ・毎週月曜日と金曜日に、クラス単位で図書室に本を借りに行く。学年独自に「図書ビンゴ」を行う。 ・学年集会に合わせて特技や自慢を披露する機会をつくり、子供たちが互いのよさを知ることができるようにする。
6 年	○進んで挨拶をする。 ○家庭学習に取り組む。 ○読書に親しむ。	・朝の挨拶だけでなく、授業の始めや終わりの挨拶も整え、全員が挨拶を行うという意識を高める。 ・週の初めに、自分の学習計画を立てることを引き続き継続する。週の半ばに進捗状況の確認をする。 ・1学期に引き続き、読書タイムを設けたり、最低2週間に1回は学級で図書室に行ったりして、読書の機会を増やす。

